科目名	論理国語	単位数	1単位	実施予定授業数	35時間

☆学習の到達目標

学習の 到達目標	【知識・技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。
使用教科書 副教材　等	【教科書】「論理国語」（数研出版） 【副教材】「音訓別重要頻出漢字リアルマスター3300」（尚文出版） 「論理国語　準拠ワーク」（数研出版） 「進研 WINSTEP 現代文 2」(ラーンズ) 「評論速読トレーニング1500」(数研出版)

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学　習　の　ね　ら　い（評価規準）	時間
第1学期	**手の変幻** ・文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の「芸術」についての考え方に対する自分の考えを述べる。 ・逆説的な表現の内容を理解する。	*4*	【知識・技能】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	*4*
	胆力について ・筆者の逆説的言説を理解したうえで、異なる事例を考え、論理的に説明する。	*5*	【知識・技能】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。[(1)ア] 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。[A(1)ウ] 「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。[A(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	*3*
	内的成長社会へ ・現代日本社会における「中間社会」の現状と課題を読み取る。 ・哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解する。	*6*	【知識・技能】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。[B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	*4*
	国境を越える言葉 ・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・外国の言葉や表現を選び、それが表す概念とともに紹介する。		【知識・技能】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。[B(1)キ] 【主体的に学習に取り組む態度】文章の論理展開や表現を粘り強く	*3*

			読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	
	【知識・技能】定期テスト・小テストにより評価する。			
	【思考・判断・表現】定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。			
	【主体的に学習に取り組む態度】課題及びレポートの記述内容・生徒自身の自己評価・相互評価により評価する。			
	【1 学期の評価方法】【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】をそれぞれ数値化し、各観点を 40%：40%：20%の割合で総括して、10 段階評定とする。			
学期	学習内容	月	学　習　の　ね　ら　い（評価規準）	時間
第2学期	**未来世代への責任** ・環境問題について筆者の意見の論理をとらえる。	*7*	【知識・技能】主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。[⑵ア] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。[B⑴カ] 【主体的に学習に取り組む態度】文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	*4*
	〈近代〉の入口と出口の間 ・筆者が考える「問題の本質」の内容を論拠とともに読み取る。 ・「知識循環型社会」の実現のために必要なプロセスと実現に向けての課題について説明する。	*8* *9* *10*	【知識・技能】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。[⑴ア] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B⑴ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	*3*
	科学・技術の歴史の中での社会 ・科学・技術の歴史を読み取り、「『道具』としての意味合いを持った科学」の内容を的確にとらえる。 ・科学と社会との関わり方について自分の考えを深める。	*11*	【知識・技能】主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。[⑵ア] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。[B⑴エ] 【主体的に学習に取り組む態度】文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	*4*
	【知識・技能】定期テスト・小テストにより評価する。			
	【思考・判断・表現】定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。			
	【主体的に学習に取り組む態度】課題及びレポートの記述内容・生徒自身の自己評価・相互評価により評価する。			
	【2 学期の評価方法】【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】をそれぞれ数値化し、各観点を 40%：40%：20%の割合で総括して、10 段階評定とする。			
学期	学習内容	月	学　習　の　ね　ら　い（評価規準）	時間
第3学期	**消費されるスポーツ** ・「メディア」と「スポーツ」の関係から活動の総体としての「社会」を導くという文章展開をとらえる。 ・文章中の比喩表現や強調表現の内容を理解する。 ・文章内容を WEB 記事の内容と関連づけて考察する。″	*12* *1*	【知識・技能】推論の仕方について理解を深め使っている。[⑵ウ] 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。[B⑴ア] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。[B⑴イ] 【主体的に学習に取り組む態度】文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	*3*
	偶然とは何か ・人間の「必然」と「偶然」についての歴史的なとらえかたについて読みとる。	*2*	【知識・技能】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。[⑴ア] 思考・判断・表現「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。[B⑴カ]	*4*

	・「偶然」の持つ価値について考えを深める。 **「安楽」への全体主義** ・人々の精神状態を「安楽への隷属」と表現する筆者の意図を読み取る。 ・筆者の考えを踏まえ、現代社会についての自分の考えを具体例とともに論述する。	***3***	主体的に学習に取り組む態度　　文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 【知識・技能】文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。[(1)エ] 【思考・判断・表現】「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する[A(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	***3***
	【知識・技能】定期テスト・小テストにより評価する。			
	【思考・判断・表現】定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。			
	【主体的に学習に取り組む態度】課題及びレポートの記述内容・生徒自身の自己評価・相互評価により評価する。			
	【1 学期の評価方法】【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】をそれぞれ数値化し、各観点を 40%：40%：20%の割合で総括して、10 段階評定とする。			
【年間の学習状況の評価方法】 **各学期の【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】をそれぞれ総括し、年間の５段階評定とする。**				